

志賀原子力発電所1号機 使用済燃料貯蔵プールへの布の落下について

平成16年10月8日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所1号機（沸騰水型、定格電気出力54万キロワット）は、9月11日より第9回定期検査を実施中です。

昨日（10月7日）16時ごろ、原子炉建屋4階において、LPRM切断装置^{*1}表面の放射性物質の有無確認のため、放射線管理員がスミヤ布^{*2}（10cm×10cm布製）を用いてふき取りを行っていたところ、手が滑ってスミヤ布を使用済燃料貯蔵プールに落下させました。

現在回収作業を実施しているところです。

スミヤ布は小さなものであり、プールに貯蔵している燃料には影響はありません。

なお、外部への放射能の影響はありません。

本件は、石川県、志賀町および富来町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、本日、当該自治体に連絡しました。

以上

*1「LPRM切断装置」：

使用済みのLPRM（局部出力領域モニタ）を切断する装置。

*2「スミヤ布」：

機器等の表面に放射性物質がついているか拭き取ることによって確認するために使用するネル製の布。

